

第33回 全国中学校バスケットボール大会

輝く瞳 燃える情熱 ~若人の夢 この北の大地に~

【試合結果】

女子		決勝トーナメント(1回戦)			
日時	平成15年8月 23日 (土)		10:50 ~		
会場	北海道立総合体育センター(きたえーる)		Cコート	第2試合	
結果	東京成徳 (東京)	20 - 15	59	純心 (長崎)	
		22 - 8			
		17 - 14			
		21 - 22			
		-			
主審	畑 香子 (北海道)		副審	成相 僚一 (島根)	

【個人トータル表】

東京成徳(東京)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	有山 景子	11	0	4	3	2
5	川村 美穂	8	0	2	4	2
6	板坂 優貴	10	0	4	2	3
7	山田 茉美	11	0	4	3	1
8	津野田 麻恭					
9	光山 慈能	13	0	6	1	3
10	天野 佳代子	17	0	8	1	3
11	長谷川 香奈	0	0	0	0	0
12	富田 夕貴	6	0	3	0	1
13	片山 浅美	4	0	1	2	1
14	藤澤 美里					
15	川鍋 早紀	0	0	0	0	0
16	本山 純子					
17	河合 弥耶					
18	間宮 佑圭	0	0	0	0	0
	合計	80	0	32	16	16

純心(長崎)						
	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
4	平川 五月	20	0	8	4	4
5	小川 千穂	3	0	1	1	5
6	高田 菜美	0	0	0	0	3
7	松岡 菜美					
8	吉田 千香	24	1	8	5	1
9	磯野 優衣	10	0	5	0	3
10	横山 悠	0	0	0	0	1
11	本川 由香里					
12	平山 愛子					
13	上田 愛	2	0	1	0	1
14	林田 清香					
15	熊川 美穂					
16	坪田 朋子					
17	丸野 佳乃子					
18	谷内 杏里					
	合計	59	1	23	10	18

【戦評】

予選リーグを大差で突破してきた東京成徳中と、サイズ的には一回り小さいが脚力のある純心中との注目の1回戦である。

1クォーター、成徳中はプレッシャーハーフマンツードィフェンス。純心中は2-3ゾーンディフェンスでスタート。成徳中が速い展開からブレイクの流れをとめずにレイアップに持ち込むプレーを多くだして20点を取れば、純心中もアグレッシブなドライブからファールを誘うなどして得点を伸ばし、何とか5点差でついていく。

2クォーター、成徳中が#6板坂のブレイクからのレイアップや、#10天野のセカンドリーブレイクから加点する間に、純心中は#4平川のスピードあるレイアップ1本にとどまり、成徳中30-17純心中となったところでたまたま純心中がタイムアウト。その後も流れは変わらず、前半を成徳中42-23純心中と、成徳が大きくリード。

3クォーター、純心中は#5小川のドライブや#9磯野のゴール下で粘るが、成徳中も多彩なおフェンスを展開し、点差は縮まらない。

4クォーター、純心中#4平川のスピードあるプレーや#8吉田のドライブなどで対抗するが、成徳中の速い展開についていけず、10得点連続で取られ、成徳中74-44純心中となる。ここからサブメンバーにかわった成徳中へのプレスが成功し、純心中は点差を縮めるが、21点差でゲームは終了した。

両チームともよく足が動き、果敢なドライブがすばらしく、特に成徳中#10天野のカバーディフェンスは純心中を苦しめていた。純心中もすばらしいフットワークを見せていたが、全ポジションバランスの良い成徳中が勝利したゲームであった。最後まであきらめない純心中の健闘をたたえたい。

大浦 浩(恵庭恵明)

【トーナメント戦績】

